



SAMPLE

Be a driver. Mazda Driving Academy with injured ZERO PROJECT



「運転の楽しさを体感」



国土交通省後援の「injured ZERO」プロジェクトの一環として実施されている太田哲也氏によるドライビングレッスンは、一般道における死亡・負傷事故をゼロとすることを目標としたスクールである。
 「クルマの運転が上手になれば安全につながる」という基本理念のもと、座学と実践で安全運転と交通マナーを楽しく学ぶことができるのが特徴だ。
 今回はマツダ車オーナーを対象としたドライビングレッスン、「Be a driver. マツダ・ドライビング・アカデミー」として開催された。

text: Hidenori TAKAKUWA (高桑秀典)
 photo: Yoshiaki AMADA (雨田芳明) Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局
 editorial design: Fumie HATA (畑 文恵)
 主催: NPO法人 KEEP ON RACING injured ZEROプロジェクト Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局
 協力: マツダ ツインリンクもてぎ

校長 太田哲也氏

元マツダのワークスドライバーで、その後、幾多のトップカテゴリーレースで活躍した自動車評論家/レーシングドライバー。現在はアクセシブルなゼロを謳ったドライビングレッスンを積極的に提案している。

ツインリンクもてぎを会場として、7月10日に「Be a driver. マツダ・ドライビング・アカデミー with injured ZEROプロジェクト」が開催された。アカデミーの校長を務めたのは太田哲也氏で、サーキット走行未経験のマツダ車オーナーを対象としたものだった。

ベーシッククラスを主として開催された今回は、広々としたスペースに白線でコースが描かれ、上から全体を見渡せるツインリンクもてぎの南コースにて、まず、パイロンスラローム、定常円旋回、高速域からのブレーキングといった基礎運転練習を行った。

その後、アカデミーの総括的メニューとして、国際レーシングコースであるツインリンクもてぎ

の東コースを走行し、午前中の座学で学んだ、「カーブをスムーズに走るための現代的な方法」である旋回ブレーキの重要性などを体感した。

マツダの開発スタッフによる特別講座も行われ、マツダ車オーナーである参加者たちは、クルマの性能や挙動を知ることによって愛車との一体感を深め、ドライビングレッスンでスキルアップしたことにより、安全運転や事故防止に対する意識をさらに強めることができた。

太田校長によるドライビングスクールは、毎回、事故が発生しないようにすることを大前提としており、安全に走ることができるサーキットを会場としている。広大かつ平坦で、安全度が高い走行スペースとして知られる今回のツイ

ンリンクもてぎ南コースなどは、その好例だ。

また、太田校長は「モータースポーツにも社会に還元できるものが何かあるはず」と考え、その信念のもとでさまざまな活動を続けている。サーキットを会場とし、アクシデントゼロを謳った「injured ZEROプロジェクト」でのドライビングレッスンを構築したことにより、モータースポーツが安全につながることを自ら実証していると言えるだろう。

太田校長によるドライビングスクールをまだ受講したことがないという方は、正しい運転を楽しく学びながら、充実した一日を過ごしてみたいかがだろうか。



座学 「緊急回避は知識と経験で可能となる」

太田校長による座学では、タイヤのグリップ変化(摩擦円の図形を使用)、加速時/減速時の荷重移動などを分かりやすく説明。マツダ車開発本部の岡本隆秀氏らによる「人馬一体講座」や、技術本部の山室利尚氏らによる「もの造り講座」もプログラムされた。



走行前

人馬一体講座で得た知識を実践

南コースを走る前にTEZZO BASEの遠藤メカニックによる走行前点検講座を実施。教習車としてマツダから提供されたデミオを使って、人馬一体講座にて学んだドライビングポジションを実践してみる時間も設けられた。





走行1 講師陣が参加者のクルマで手本を見せる

最初のメニューはブレーキング(ABS)体験。続いて定常円旋回とスラロームによって構成された複合コースを走った。随時、講師陣から適切なアドバイスをもらえたので、参加者たちは見る見る上達していった。また体験試乗コーナーでは、マツダの最新モデルに乗ることができた。



新型ロードスターのボディに使用された軽量パネルや、小型、軽量化されたエンジンブロック、そして、高強度鋼のサンプルなどが展示され、マツダが誇る最新技術を見て、触って、じっくり知ることができた。



ND型ロードスターで参加した藤田さん(31歳)は、以前、北海道旅行した際に乗ったNC型の印象がよく、ND型購入を決定。5月29日納車なので、今回が初サーキットだ。

SAMPLE

南コースでアンダーステアやオーバーステアなどを安全に体験するといった実技を終えた参加者たちは、東コースに移動し、パドックにクルマを整列させた。





走行2 安全かつ安心して走行できる速度域で実施

参加者たちは国際レーシングコースを走る前に太田校長のレクチャーに耳を傾け、体験走行するにあたっての注意点を確認。東コースでは、先導車付きでの隊列走行を楽しんだ。

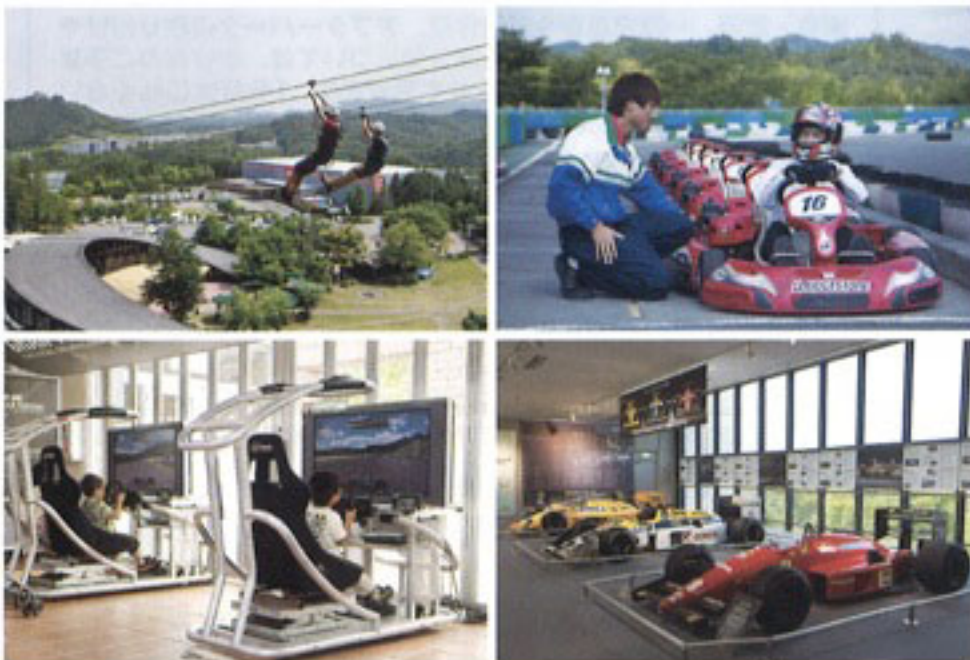


修了式

参加者全員に修了証と記念品を進呈

修了式では講師陣とマツダの開発スタッフが総評を述べた。太田校長からは「座学で学んだことを考えつつ運転してくれたので、全員が上手くなった。今日学んだことを公道での安全につなげ、アンバサダーとして交通安全を広めてほしい」といった言葉が贈られた。

今回はツインリンクもてぎを会場に開催



すでに数多くの自動車メーカーやサーキットが「injured ZERO」プロジェクトに賛同しているが、その中のひとつであるツインリンクもてぎが今回の会場となった。バイク体験ができるモトレーサーなど子どもたちが楽しめる施設が複数あるので、ファミリーでドライビングレッスンに参加できるだろう。



低リスクにてクルマの挙動変化や荷重移動について学ぶことができる南コースは、パイロンを不等に設置するなどして変化に富んだコースを容易に構築できる多目的スペースだ。

NEXT LESSON

次回は9月19日に日産エクストレイルなどを教習車として、柚ヶ浦フォレストレースウェイにて「Tetsuya OTA ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON with NISSAN」を開催予定。読者の皆さんもぜひ! <http://www.sportsdriving.jp/>